



（前作）「山野集」(川越美術館所蔵) 1964年  
（現地にて撮影）新作の記念碑に、郷土色の記念碑に並びます。

向井潤吉 1960's

# 民家遍歴

2017年  
8月5日[土]—12月3日[日]

開館時間：10:00～18:00(最終入館は17:30まで)

休 開 日：毎週月曜日

ただし、9月18日(月・祝)、10月9日(火・祝)は開館。

9月19日(火)、10月10日(水)

それでも私は飽きもせず、  
懲りもせず心忙しく、  
好きな所へは何度でも、  
未見の場所には、  
新鮮な希望をもって訪ねて行く。

料 料：一般200円(160円)、大高座150円(120円)、65歳以上／中小生100円(80円)

\*開館料を支払った場合は、100円(80円)、ただし小中・高・大学生の購入券は無料

※訪問者は必ず各自の責任で保護料、整理券をご持参のうえ、お申し出ください

\* 11月23日以上の団体料金

\* 小・中学生は土・日・祝・休日、夏休み・春休みは特別料

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒114-0016 東京都世田谷区浜袋2-5-1 TEL:03-3436-9141

<http://www.setagaya-kichi-ansei.jp/>



【舟かげの家】(笠置町) 1961年



【山陰の口 (若狭以下近畿半島の風景)】(1961年)



【山陰本線 (山陰本線沿いの風景)】(1962年)



【川の端 (岐阜県大野郡白川村の風景)】(1962年)



【松原生に入りむ (近畿地方の風景)】(1964年)



【ふみじの老舗 (近畿地方の風景)】(1962年)

向井潤吉(1901-1995)は、10代半ばより、京都の西画美術館で洋画を学び、戦前に単身渡欧して研修を積み、戦中の従軍絵画の経験を経て、戦後より一貫して全国各地の民衆や風景を描き続けた画家です。平成29年度は、その誕生日を2期にわけ、第2期にあたる本展では、1960年代の作品を中心にご紹介します。

「私の民衆を描く気持ちにもう動きと変移があった。むしろ草履根を主とする民衆が興味と深めの中心目標だが、あまりに家ののみに焦点をおくと、何か設計図みたい立派な足と侏儒的な足があり難いと説明になりやすいので、むしろ家を大切にしながらも、その家をとり廻す風土風景を主とするようになってきたのである。」

向井潤吉「近畿風景」(中央公論社)1964年12月号

この言葉のとおり、向井潤吉にとって1960年代は、民衆を見つめ、これを描く姿勢を確立していく時期だったことがわかります。いっぽう、日本の社会は新特許、高速道路などの交通網が整備され、大阪市への人口流入が現れ、さらには山間部ではチム建設などの影響から、風景そのものが姿を消してしまった。各地の風土や暮らしに首當者は徐々に姿をなくし、向井は風景をいだきながら、絵具箱を背負って列島を周遊したのです。

ついに現在にオーゼルを立て、民衆と向き合う「現地主義」を貫いた向井潤吉が、民衆を描くことに半生をささげようとも心に定め、日本の風景が変わりゆくことに一枚の寂しさを心にいだきながらも自身の調業を決定づけているのが、この1960年代だったのでしょう。

本展では、1959年から1960年にかけてヨーロッパへ。さらには1966年に中国に旅行した際に描いた作品もご覧いただきます。

向井潤吉 1960's

## 民家遍歴

世田谷美術館分館  
ギャラリートーク

担当者による作品解説を行います。  
ぜひご参加ください。

8月16日(土)11:00～ 向井潤吉アトリエ  
8月21日(木)11:00～ 清川泰次記念ギャラリー  
11月18日(土)11:00～ 萩本三郎記念美術館  
\*レポート6月23日発行、会場渡假料(別途料金)、事前申込不要

### 世田谷美術館分館

## 向井潤吉アトリエ館

TEL03-6714-8014 東京都世田谷区砧東2丁目1  
TEL03-5445-0151  
<http://www.setagaya-kokochi-museum.jp/>



セイタガッコ

(玄関内)

向井潤吉が在住した「新潟大学」(新潟市)、徳島(1959)・東京(1960)・奈良(1960)・和歌山(1960)・東京(1961)・福岡(1961)・京都(1961)・大阪(1961)・奈良(1961)・東京(1962)・横浜(1962)・新潟(1962)・新潟(1963)・奈良(1963)・奈良(1964)・奈良(1965)・奈良(1966)・奈良(1967)・奈良(1968)・奈良(1969)・奈良(1970)・奈良(1971)・奈良(1972)・奈良(1973)・奈良(1974)・奈良(1975)・奈良(1976)・奈良(1977)・奈良(1978)・奈良(1979)・奈良(1980)・奈良(1981)・奈良(1982)・奈良(1983)・奈良(1984)・奈良(1985)・奈良(1986)・奈良(1987)・奈良(1988)・奈良(1989)・奈良(1990)・奈良(1991)・奈良(1992)・奈良(1993)・奈良(1994)・奈良(1995)

世田谷美術館分館

### 清川泰次記念ギャラリー

TEL03-6714-8014  
TEL03-5445-1247  
<http://www.setagaya-kokochi-museum.jp/>

\*清川泰次「季節の精更」  
2017年8月1日(土)～12月31日(日)



世田谷美術館分館  
宮本三郎記念美術館

TEL03-6714-8014  
TEL03-5445-1248  
<http://www.setagaya-kokochi-museum.jp/>

\*宮本三郎の「秋(かえ)」FALCE in Subaru Miyamoto's Art  
2017年8月1日(土)～12月31日(日)



セイタガッコ

### 世田谷美術館

TEL03-6714-8014  
TEL03-5445-0111(会場)

(玄関内)

TEL03-5445-0101(会場)  
<http://www.setagaya-kokochi-museum.jp/>

\*会場内カードにてご購入下さい。

### 世田谷美術館休館日のお知らせ

施設毎休館日は各館のHP等で確認の上、休館工事等の場合は、改めてお知らせ

2017年7月30日(月)～2018年1月12日(水)の間、休館いたします。



\*スタンダード版、パリジョン版、時代美術版女性たち

2018年1月13日(木)～4月1日(日)

会期: 2017年8月5日(土)~12月3日(日)

◆正面玄関アートリエ展示室（母屋1階）

No.	作品名	制作年	表記[ ]内の地名表記は、制作時の記録等に基づきます。 材質、性状 寸法(cm)	作品番号
1	姉の下の村【岡山県吉田郡上倉原村天王】	昭和53(1978)年	カンヴァス、油彩	45.5×53.0 O302
2	海と山【高知県東洋市室戸岬】	昭和35(1960)年	カンヴァス、油彩	34.2×41.5 AO069
3	バウの風景	昭和34-35(1959-60)年	カンヴァス、油彩	34.5×46.2 AO108
4	プロパンの瓶(バケツ)	昭和34-35(1959-60)年	カンヴァス、油彩	38.2×54.8 AO052
5	トレド新春	昭和35(1960)年	カンヴァス、油彩	146.0×97.5 AO138
6	東戸【高知県東洋市東戸岬】	昭和35(1960)年	カンヴァス、油彩	16.6×90.8 AO032

◆展示室A（土蔵1階）

7	コローラを操して	昭和8(1933)年	カンヴァス、油彩	72.8×91.0 AO040
8	庶民にて【岩手県岩手郡玉山村】	昭和36(1961)年	カンヴァス、油彩	45.5×53.0 AO133
9	秋風の中の水車【岩手県江刺市中沢】	昭和44(1969)年	カンヴァス、油彩	45.5×53.0 O286
10	風と砂の村【青森県北津軽郡市浦村十三】	昭和39(1964)年	カンヴァス、油彩	80.7×99.7 AO028
11	北廻の村【青森県下北郡東通村尻屋、尻屋岬入口】	昭和37(1962)年	カンヴァス、油彩	50.3×60.5 O277
12	廻廊【山形県東田川郡朝日村廻廊】	昭和41(1966)年	カンヴァス、油彩	91.0×116.5 AO003
13	田舎家にて【山形県東田川郡朝日村田舎家】	昭和38(1963)年	カンヴァス、油彩	91.1×117.0 AO039
14	山間草木【山形県東田川郡朝日村田舎家】	昭和37(1962)年	カンヴァス、油彩	45.7×53.2 O278
15	マダラの家【根子経澤にて:秋田県北秋田郡阿仁根子】	昭和38(1963)年	カンヴァス、油彩	49.5×60.5 AO089
16	奥郷豊の漁家	昭和37(1962)年	カンヴァス、油彩	33.0×45.3 AO153
17	巣上川草春【山形県北村山郡大石田町今宿】	昭和41(1966)年	カンヴァス、油彩	45.2×60.5 O283
18	御代庵初秋【福島県郡山市湖南町三代】	昭和40(1965)年	カンヴァス、油彩	45.7×60.6 AO014
19	山家雰囲【宮城県刈田郡七ヶ宿町閑字横川】	昭和36(1961)年	カンヴァス、油彩	45.5×53.5 AO057
20	耕の家【福島県高山郡】	昭和37(1962)年	カンヴァス、油彩	45.5×52.9 O279

◆展示室A（土蔵2階）

21	妙高高原【新潟県中頃域妙高村妙高高原町】	昭和39(1964)年	カンヴァス、油彩	60.8×72.9 AO007
22	晩秋の往還【新潟県中頃域妙高村妙高坂上新田】	昭和38(1963)年	カンヴァス、油彩	40.0×53.0 O380
23	奥丹波の秋【京都府船井郡丹波町】	昭和44(1969)年	カンヴァス、油彩	45.5×53.0 AO109
24	晩秋【京都府船井郡丹波町】	昭和44(1969)年	カンヴァス、油彩	45.5×53.1 O287
25	丹波下山の詠落【京都府船井郡丹波町下山】	昭和44(1969)年	カンヴァス、油彩	50.0×60.5 AO013
26	大原冬に入る【京都府京都市左京区大原】	昭和41(1966)年	カンヴァス、油彩	45.5×53.2 AO058
27	秋谷の部落【長野県木曽郡白川村萩原】	昭和42(1967)年	カンヴァス、油彩	50.0×60.6 O284
28	白川郷【岐阜県大野郡白川村萩原】	昭和38(1963)年	カンヴァス、油彩	72.8×90.9 AO035

◆展示室B（母屋2階）

29	ヨーロッパ風景(フレンチ)	昭和34-35(1959-60)年	紙、鉛筆、水彩	31.3×41.6 AW128
30	龍門石仏(參寺大仏堂)	昭和41(1966)年	紙、鉛筆、水彩	44.8×36.0 AW024
31	龍門石仏(參寺大仏)	昭和41(1966)年	紙、鉛筆、水彩	44.5×35.6 AW023
32	ヨーロッパ風景(プロバンの街にて)	昭和35(1960)年	紙、鉛筆、水彩	41.5×31.5 AW112
33	森の小屋の家【長野県上水内郡戸隠村】	昭和36(1961)年	カンヴァス、油彩	45.6×53.2 O276
34	山腹の家【東京都西多摩郡檜原村原村敷地】	昭和39(1964)年	カンヴァス、油彩	53.0×45.5 O281
35	大山踏での道【神奈川県伊勢原市子島】	昭和41(1966)年	カンヴァス、油彩	45.4×60.5 O282
36	春陽富士【山梨県南都留郡忍野村忍野】	昭和40(1965)年	カンヴァス、油彩	45.5×53.9 -
37	ふもとの老樹【山梨県北巨摩郡小菅沢町】	昭和41(1969)年	カンヴァス、油彩	50.2×60.5 AO053
38	不詳【長野県更埴市森谷】	昭和36(1961)年	カンヴァス、油彩	45.5×53.0 AO100
39	海の見える梅林【和歌山県日高郡南栄町】	昭和43(1968)年	カンヴァス、油彩	45.7×53.2 O285

各作品に付した向井潤吉による解説文は、以下の文献から引用して掲載しました。

作品No.14,18,36:『日本の民家』保育社 昭和43(1968)年

作品No.9,39:『民家を主とした向井潤吉色彩版』朝日新聞社 昭和54(1979)年

作品No.24,25,26,31:『日本の民家』保育社 昭和54(1979)年

作品No.11,17,37:『米寿記念 向井潤吉展』朝日新聞社 平成2(1990)年